

事業者排出量削減報告書

住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	〒623-0054 京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20番地									
氏名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	日東精工株式会社 代表取締役社長 塩田 展康									
事業者の主たる業種	ボルト・ナット・リベット・小ねじ・木ねじ等製造業 (2581)									
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第1号該当事業者 (大規模エネルギー使用事業者 (原油に換算して1,500キロリットル以上)) <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第2号又は第3号該当事業者 (大規模運送事業者 (トラック又はバス100台以上/タクシー150台以上/鉄道車両150両以上)) <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第4号該当事業者 (その他の温室効果ガスの大規模排出事業者 (二酸化炭素に換算して3,000トン以上))									
計画期間	平成20年 4月 ~ 23年 3月									
基本方針	不良率の削減、再加工の削減、廃棄物のリサイクル化によって二酸化炭素をエネルギーの使用に係る原単位で毎年1%づつ削減する。									
推進体制	ISO14000環境管理組織の小委員会組織、省エネ委員長を本部長とする省エネ委員会で実施計画の策定し、全社の省エネを推進する。(組織変更に伴い、現行体制に変更 2009.1.1)									
	環境マネジメントシステム名称	ISO14001		ISO14001						
	適用範囲	本社工場・八田工場		城山工場・制御システム工場						
	取得年月日	2000年5月19日		2008年7月4日						
年度ごとの具体的な取組及び措置の状況	年度	設備、対象、工程等	措置内容							
	20	メッキ工程	ベーキング炉の更新							
	20	洗浄工程	ブチ洗浄機の製作 3台							
	20	ヘッダー工程	エヤー漏れの低減 (引き続きテーマとして取上)							
温室効果ガスの排出量等	排出区分	基準年度 (実績) (19)年度 (二酸化炭素換算)	目標年度 (計画) (22)年度 (二酸化炭素換算)	増減率 (計画)	報告年度 (実績) (20)年度 (二酸化炭素換算)	増減率 (実績)				
	A 事業所等排出区分	8,236.0 t	7,988.9 t	-3.0 %	7,212.7 t	-12.4 %				
	B 輸送車両排出区分	t	t	%	t	%				
	C その他排出区分	t	t	%	t	%				
	排出合計	*1 8,236.0 t	*2 7,988.9 t	-3.0 %	*4 7,212.7 t	-12.4 %				
実績に対する自己評価	受注の大幅減少による生産設備稼働の変更が大きいと考える。一斉休業の実施・精密熱処理炉の1台停止・全自動亜鉛メッキ装置の停止など									
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	用途区分	原単位の指標	基準年度 (実績)	目標年度 (計画)	増減率 (計画)	報告年度 (実績)	増減率 (実績)			
	全社	二酸化炭素換算 売上	0.3512 t/百万円	0.3406 t/百万円	-3.0 %	0.3673 t/百万円	4.6 %			
		二酸化炭素換算			%		%			
		二酸化炭素換算			%		%			
	実績に対する自己評価	受注の大幅減少により生産設備稼働の二酸化炭素は大幅に削減しているが、受注の大幅減少によりそれ以上に全社の売上が大幅に削減となった。(売上前年比 87.1%)								
その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等	対策等の区分	目標年度 (計画)			報告年度 (実績)					
		取組量等		(二酸化炭素換算)		取組量等		(二酸化炭素換算)		
	森林の保全及び整備	(整備面積)	ha	(吸収量)	t	(整備面積)	ha	(吸収量)	t	
		(利用量)	m ³	(削減量)	t	(利用量)	m ³	(削減量)	t	
	府内産の木材の利用	(売電量)	kwh	(削減量)	t	(売電量)	kwh	(削減量)	t	
		(熱供給量)	GJ	(削減量)	t	(熱供給量)	GJ	(削減量)	t	
	自然エネルギーを利用した電力又は熱の供給	(購入量)	kwh	(削減量)	t	(購入量)	kwh	(削減量)	t	
		(購入量)	t	(削減量)	t	(購入量)	t	(削減量)	t	
	グリーン電力の購入	(削減量等合計)		*3	t	*5		t		
		削減量等合計								
差引排出量 (排出合計-削減等合計)	基準年度 (実績)	*1 8,236.0 t	目標年度 (計画)	(*2)-(*3) 7,988.9 t	増減率 (計画)	-3.0 %	報告年度 (実績)	(*4)-(*5) 7,212.7 t	増減率 (実績)	-12.4 %
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	綾部市産業祭りに参加 綾部山良川花壇展に参加 家庭用食用油回収に参加 綾部水無月祭り後の清掃作業に参加									
特記事項	1. 城山工場・制御システム事業部において、平成20年度にISO14001の受賞し取得した。 2. 冷暖房については、夏28℃以上・冬18℃以下に設定するよう制定しています。 3. 従業員に環境教育を実施すると同時に公用車のアイドリングストップの実施を図っています。 4. 太陽光発電の導入に向けて、プロジェクトチームを立上げて素案を作ること模索したい。 5. グリーン購入を進めています。									

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外の事業者の方はレ印の記入は不要です。
 2 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度を、「報告年度」とは計画期間のうち、今回報告の対象となる年度をいいます。
 3 「事業所等排出区分」とは京都府内の事業所等の事業活動のためのエネルギーの使用に伴い発生する温室効果ガスを、「輸送車両排出区分」とは自動車運送事業者については使用の本拠の位置を京都府内とする車両の排出する温室効果ガスを、鉄道事業者については保有する貨物車両又は旅客車両の排出する温室効果ガスを、「その他排出区分」とは上記以外の京都府内における事業所等の事業活動に伴い発生する温室効果ガスをいいます。
 4 「原単位当たりの温室効果ガス排出量等」の「用途区分」には、〇〇工場、事務所などの用途を記入してください。「原単位の指標」には、分子の「二酸化炭素換算」の下に分母となる指標(生産数量、延べ床面積、走行距離等)を記入してください。
 5 「その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等」のうち「森林の保全及び整備」の「目標年度(計画)」欄には計画期間中の目標の累計を、「報告年度(実績)」欄には実績の累計を記入してください。
 6 「特記事項」には、平成2年度(1990年度)を基準とした排出量の対比や、省エネ製品開発など他者の温室効果ガス排出削減への貢献、グリーン調達の実用、特定フロンなどの条指定外の温室効果ガスの削減などを記入してください。